

姫路医療センターさくらんぼクラブ通信

さくらんぼクラブは、がん患者さんとご家族のための会です 2011年10月 第20号

9月のさくらんぼクラブ

通常は第4金曜日に開催のさくらんぼクラブですが、9月は23日が祝日でお休みだったため、第5金曜日の30日に行いました。参加者は多分これまでで一番多かったのではないのでしょうか。初めての方5名を含む16人が集まりました。若年性がんの患者さんから80歳代の患者さんまで、年齢もバラバラでしたし、がんの部位も、ステージもさまざまでした。他院で治療中という患者さんも来られていました。



いまだにがんだという気がしないんです。でも、これからのことをどう考えたらよいのか…

「要検査」の検診結果が出て、あれよあれよという間にがんの告知を受け、治療を開始した方が正直な胸の内を明かしてくださいました。「がんと付き合い始めた最初」の話を参加者で順に語りました。ショックでも、そのことを受け入れていかなければならないのですが、参加者それぞれの年齢や状況を思い浮かべ、感情移入するうち、いつしか相手のことを案じていました。

さくらんぼクラブに来て、話したいことはいくらでもあるのですが、一人ひとりが自分のことをゆっくり話すには、時間が足りないかもしれません…

参加者の声です！

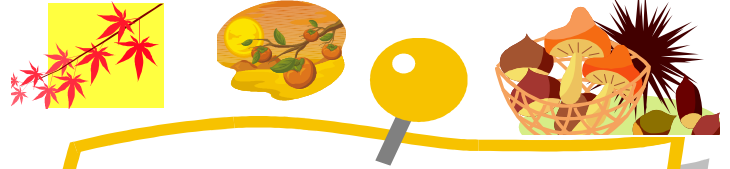
「子どもがいるので家族の生活が気がかり」

「もともと別の症状で通院していたので、スーツと(乳がんを)受け止められた」

「ネットでいろいろ調べた末に、この病院の〇〇医師を選んだので、セカンドオピニオンも不要だった」

「余命告知をされたが、元気に過ごしている」

「家にひとりしていると、悲しくなることもある」



今後のさくらんぼクラブの予定

2011年10月28日(金)

2011年11月25日(金)

2011年12月22日(木)

12月23日は祝日のため、前日に変更します。

2012年1月27日(金)

2012年2月24日(金)

2012年3月23日(金)

時間は **10:00~12:00** です

案内のパンフレットを作成します！

がんになると、治療の日々が始まります。その時私たち患者に寄り添い、応援・伴走してくれるのが『がん相談支援室』の皆さんです。姫路医療センターはがんの拠点病院なので、このような部屋があるのだそうです。しかし、もしまだこの部屋をご存じない患者さんがいらっしやったら、もったいないことだと思います。病院でも利用を薦めているようですが、利用者の立場からさくらんぼクラブで『がん相談支援室』の案内を作ろうということになりました。まだ土台も出来ていない状態ですが、早く多くの方の手に渡るよう、がんばって作業をするつもりです！



さくらんぼクラブ通信は、さくらんぼクラブ会員である患者さんやそのご家族の体験・言葉で構成され、姫路医療センターがん相談支援室が発行しています。

がんサロン支援塾に参加して

7月号(第17号)のさくらんぼクラブ通信でもお伝えしましたが、9月17、18日に島根県益田市で開催された「がんサロン支援塾」にさくらんぼクラブから3名(患者1名、患者家族2名)が参加しました。島根県は日本で最初のがんサロンが誕生した地であり、患者さん達が大変行動的で、サロンもいくつもあります。支援塾では、どのようにサロンを作り、維持し、より良い場にしていくかを2日間に渡り、みっちり学んできました。今回のさくらんぼクラブでは、その時の写真を見ながら、ご報告をしました。

病院側と患者側とが協力して行っている「さくらんぼクラブ」が、なかなか良いサロンなのだなあと実感しました。まだまだ未熟だと痛感することも多いので、支援塾で学んだことを今後のさくらんぼクラブに活かし、「より良い場」となるよう、頑張っていきたいと思います。

さくらんぼクラブは今後

支援塾で他のサロンの取り組みを聞くと、月に2回以上、多いところでは週に2~3回開催しているところがほとんどで、月に1回の開催日では少なすぎるのではないかと指摘されました。遠方からの来院者も多いだろうから、時間を延長するか、または別の日を設けるなどして、より多くの患者にサロン訪問を可能にすべきである、と。さくらんぼクラブ出席者に尋ねたところ、「第4金曜日と決まっていると、普段は仕事で来れない」「午前中は駐車場が混んでいて停めるのが大変」「午前中は診察や治療中で、参加しにくいこともある」などの意見が出ました。「これまで通り、第4金曜日のさくらんぼクラブは残したまま、毎月1回、違う曜日の午後にもさくらんぼクラブを行ってはどうか」というアイデアには面白いね!との反応がありました。今後も話し合っていきたいと思います。

はじめまして!さくらんぼクラブ歴1年4ヶ月のMです。昨年夫が膵臓がんの告知を受け、不治の病と向き合う生活を過ごしました。

夫にどう寄り添っていけばいいのかと、暗中模索している中、目に入ったのが「がん相談支援室」でした。藁にもすがる思いで部屋に飛び込み、がん看護専門看護師に治療の進み具合や副作用の対応の仕方など、生活のアドバイスを受けることができ、がん相談支援室は夫の心のよりどころとなりました。またさくらんぼクラブは語り合うことで、共感し、いたわり合い、支え合う私の癒し・くつろぎの場になりました。

夫が亡くなり、悲嘆にくれ、暗たんとした日々、さくらんぼクラブメンバーからお誘いがあり、一歩踏み出す勇気が湧き、「さくらんぼクラブ」に再会することができました。

島根県益田市で開催されたがんサロン支援塾にも参加させていただき、主催された納賀さんのパワーに圧倒されながらも、医療に携わる方々の熱い想いに引き込まれていきました。夫の闘病生活を大きく支えて下さったがん相談支援室の重要性を改めて感じ、納賀さん達の尽力(がん対策推進条例の制定等)に感謝の想いでした。これからのがん対策に向けて、患者・家族・医療者が一体となるよりよい医療を目指し、さくらんぼクラブの皆さんと共に、今何が必要なかを考え、学んでいこうと思いました。

益田からの帰り、車窓から昨年夫と旅した津和野の風景が...
夫が笑顔のエールをおくってくれたようでした。

